NTT

業務用留守番電話

AT-D770

取扱説明書

このたびは、[業務用留守番電話 AT-D770] をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとも、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全にお使いいただくために……2
お使いになる前に……4
各部の名前とはたらき……5
- 各部の名前とはたらき……5
- ディスプレイの見方……7
- ディスプレイの表示切替のしかた……8

電話回線／電源を接続する……9
留守番電話の準備をする……11
- メモリーカードを取り付ける……11
- 時計を合わせる……12
- 応答メッセージを録音する……13

留守セットをする……14
- 留守セットをする……14
- 留守セットを解除する……14

用件を再生する……16
- 用件を再生する……16
- 用件を消去する……17

自動呼出をする……18
- ポケットベルなどを呼び出すとき……18
- 自動呼出をセットする……21
- 呼び出されて用件を聞く……21

通話録音をする……22
- 手動通話録音をする……22
- 自動通話録音をする……22

タイマーをセットする……23
- タイマーを登録する……23
- タイマーをセットする……24
- タイマーを解除する……24
- タイマープログラム表……25

リモコン操作をする……26
- 暗証番号を登録する……26
- リモコン再生をする……27
- その他のリモコン操作をする……28
- リモコンをする……32

機能の設定を変える……33
操作早見表……35
故障とお考えになる前に……39

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

⚠警告 ご使用にあたって

本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

⚠警告 電源について

AC100V の電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源アダプタは大切に扱ってください。
コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

電源アダプタは添付のものをお使いになりそれ以外のものは絶対に使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。
火災・感電の原因になります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから、根元まで確実に電源コンセントに差し込んでください。
また、半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検・清掃をしてください。
差込み部分のほこりなどにより火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告 設置場所や環境について 設置にあたって

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。
こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

⚠警告 設置場所や環境について 設置にあたって

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下してけがの原因になります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

本装置を壁に取り付ける場合、確実に取り付けられていることを確認してください。
ベニヤ板や石膏ボード板などの薄い板壁に取り付けると、重みでネジが抜けて本装置が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

⚠警告 こんなときは（対処のしかた）

雷が鳴り出したら、本機や電源アダプタには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

動作が異常、音が出ないなど故障状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠警告 こんなときは（対処のしかた）

床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。
付着した場合はすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因になります。

⚠注意 使用方法・設置環境について

直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。

密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

STOP お願い 使用方法・設置環境について

落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。

極端に寒いところ、海岸などの塩分の多いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

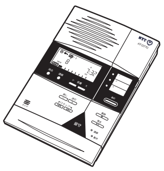
テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- 本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本装置がラジオやテレビジョン受像機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
- 本装置の仕様は国内向けになっていますので、海外でご利用いただくことはできません。
  This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 一般電話回線と本装置の間に、アダプタ（ナンバーディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全に一致していないため、本装置が正常に動作しないことがあります。
- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
  ただし、本装置の故障･誤動作または不具合あるいは停電等の外部要因により、録音･通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害や、本装置に録音された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本装置を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもとになりますので絶対におやめください。
- この取扱説明書、ハードウエア、ソフトウエアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。

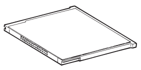
お使いになる前に

■セットの確認

● 次のものがそろっていることをお確かめください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があったときには、当社のサービス取扱所またはお買いあげになった販売店へご連絡ください。

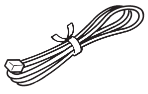


本体

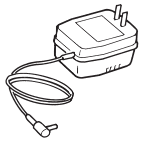


※ 本書では以後メモリーカードといいます。

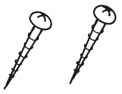
フラッシュメモリーカード（１枚）



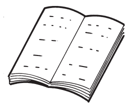
モジュラーコード（１本）



電源アダプタ（１個）



木ネジ（壁掛用）（２本）



・取扱説明書
・保証書
・通信機器取扱相談センタシール

■取り付けについて

● 共同電話、公衆電話、地域集団電話にはご使用になれません。
● 規格の異なる海外ではご使用になれません。

■電源について

● 停電すると本装置は着信に応答しません。回線に応答中の場合は、停電と同時に回線への応答を終了します。
● 内蔵の時計は約１日バックアップされています。１日以上停電した場合は、通電後、曜日と時刻を合わせてください。時計が止まるまでの時間は、ご利用状況により変わることがあります。
● 停電しても録音内容や各種データが消えることはありません。

■ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）について

● 本機は、ナンバー・ディスプレイ対応端末が接続されている場合のみナンバー・デイスプレイの表示を行うことが可能です。このサービスをご利用になるときは契約が必要です。

＊お申し込み・お問い合わせは、局番なしの「１１６」へ。

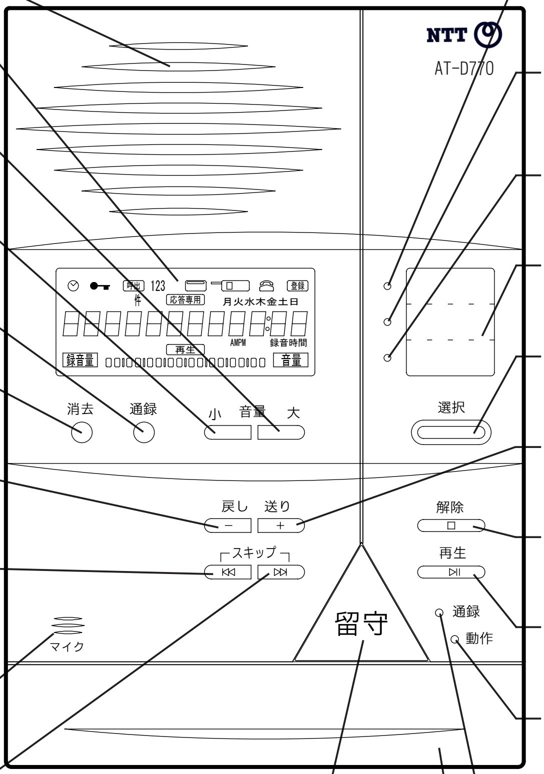
■登録時のお願い

● 時計・暗証番号等の登録操作中、約２分間、何もしないと、自動的に解除状態になります。このときは、最初から登録をやり直してください。

各部の名前とはたらき

各部の名前とはたらき

■正面



●**スピーカ**
録音内容などを拡声します。

●**ディスプレイ**
着信回数や登録内容などを表示します。

●**大（音量）ボタン**
スピーカ音量を大きくするとき押します。

●**小（音量）ボタン**
スピーカ音量を小さくするとき押します。

●**通録ボタン**
通話録音するとき押します。

●**消去ボタン**
メッセージや登録値を消去するとき押します。

●**戻しボタン**
用件を巻戻しするときや登録のとき押します。

●**前スキップボタン**
前の用件メッセージへスキップするときや登録などのとき押します。

●**マイク**
応答メッセージを録音するとき使用します。

●**後スキップボタン**
次の用件メッセージへスキップするときや登録などのとき押します。

●**留守ボタン**
留守セットをするとき押します。
留守ランプが内蔵されています。

●**スイッチカバー**
応答メッセージの録音などのときに開けます。

●**応答ランプ 1**
応答メッセージ1が選択されているとき点灯します。

●**応答ランプ 2**
応答メッセージ2が選択されているとき点灯します。

●**応答ランプ 3**
応答メッセージ3が選択されているとき点灯します。

●**応答メッセージシート**
応答メッセージの内容などをメモします。

●**選択ボタン**
応答メッセージを選択するとき押します。

●**送りボタン**
用件を早送りするときや登録のとき押します。

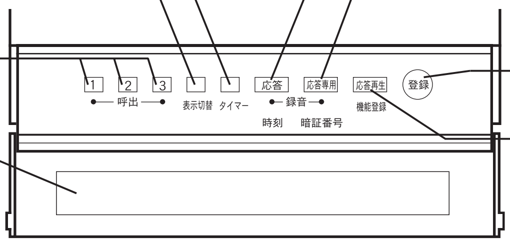
●**解除ボタン**
動作を停止するとき押します。

●**再生ボタン**
用件メッセージを再生するとき押します。

●**動作ランプ**
動作中やベル受信しているとき点灯または点滅します。

●**通録ランプ**
通話録音中や自動通話録音にセットされているとき点灯します。

《スイッチカバー内部》



●**タイマーボタン**
タイマーで留守セットやタイマーを解除するとき押します。

●**表示切替ボタン**
着信記録や総録音件数、メモリーカードの録音残時間の表示に切り替えるとき押します。

●**呼出 1～3 ボタン**
自動呼出のセットや登録などのとき押します。

●**説明ラベル**

●**応答／時刻ボタン**
「応答録音」の応答メッセージを録音するときや時刻を合わせるとき押します。

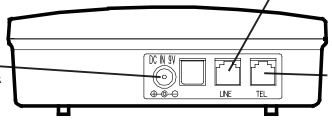
●**応答専用／暗証番号ボタン**
「応答専用」の応答メッセージを録音するときや暗証番号の登録をするとき押します。

●**登録ボタン**
登録するとき押します。

●**応答再生／機能登録ボタン**
応答メッセージを再生するときや機能登録をするとき押します。

各部の名前とはたらき

■後面

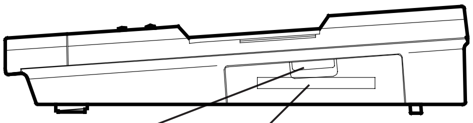


●**電源アダプタ用ジャック**
電源アダプタを接続するジャックです。

●**回線用モジュラージャック**
電話回線を接続するモジュラージャックです。

●**電話機用モジュラージャック**
電話機を接続するモジュラージャックです。

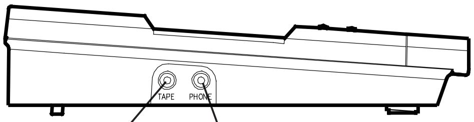
■右側面



●**メモリーカバー**
メモリーカードを挿入または取り外すとき開けます。

●**メモリーカード挿入口**
メモリーカードを挿入します。

■左側面



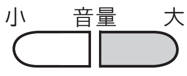
●**テープジャック**
テープレコーダから応答メッセージを録音するとき使用します。

●**イヤホンジャック**
イヤホンを接続します。

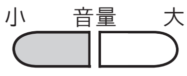
ワンポイント

● イヤホンを接続していると、スピーカからは音がでません。

音量調節のしかた



・[大] ボタンを押すごとに、音量は大きくなります。
・押し続けると、段階的に音量が、大きくなります。(8 段階)



・[小] ボタンを押すごとに、音量は小さくなります。
・押し続けると、段階的に音量が、小さくなります。(8 段階)

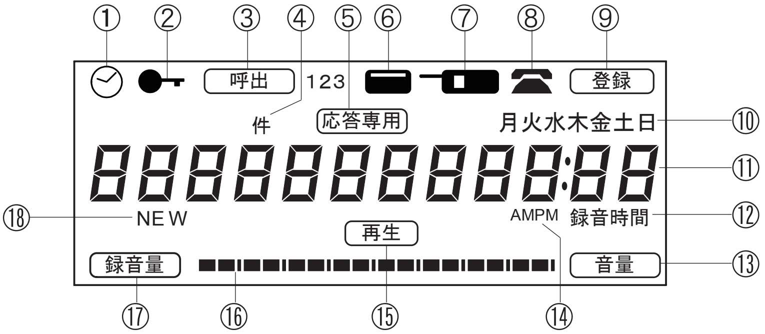
● 音量を調節したとき、約３秒間、ディスプレイのレベル表示に音量を表示します。

● レベル表示の点灯数が多いほど、大きい音量で、再生や居留守応答のモニターができます。

● 応答メッセージおよび用件の再生音の音量
・待機中または再生中に音量調節ができます。

● 居留守応答のモニター音量
・留守セット中に、音量調節ができます。
・居留守応答のモニター音量は、再生音の音量とは別に音量調節ができます。

ディスプレイの見方



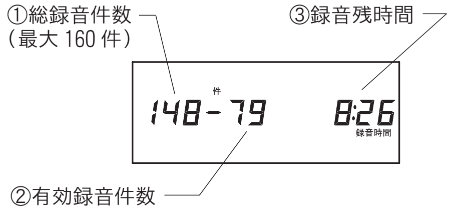
①	（タイマー）	タイマー機能を使用しているときやタイマー登録中に点灯します。
②	（暗証番号）	暗証番号が登録されているときや暗証番号を登録中のとき点灯します。
③	呼出 1, 2, 3	自動呼出がセットされているときや呼出先を登録中に点灯します。
④	件	カウンタ⑪の上４桁が録音件数などを表示しているとき点灯します。
⑤	応答専用	応答専用メッセージが選択されているとき点灯します。
⑥	（ポケベル）	ポケットベルが選択されているとき点灯します。
⑦	（携帯電話）	携帯電話が選択されているとき点灯します。
⑧	（一般電話）	一般電話が選択されているとき点灯します。
⑨	登録	時刻や機能登録などを登録中のとき点灯します。

⑩	月〜日	曜日を表示しているとき点灯します。
⑪	（カウンタ）	録音件数、時刻、動作状態などを表示しているとき点灯します。（12桁）
⑫	録音時間	カウンタ⑪の下４桁が録音時間を表示しているとき点灯します。
⑬	音量	レベル⑯が再生音の大きさを表示しているとき点灯します。
⑭	AM PM	時刻を表示しているとき点灯し、AMは午前を、PMは午後を表しています。
⑮	再生	用件メッセージを再生しているとき点灯します。
⑯	（レベル）	用件のメモリー使用量や再生音量を表示しているとき点灯します。
⑰	録音量	レベル⑯が用件のメモリー使用量を表示しているとき点灯します。
⑱	NEW（新）	留守セット時の未再生メッセージを表示しているとき点灯します。

ディスプレイの表示切替のしかた

総録音件数・有効録音件数・録音残時間の表示のしかた

1 (解除) を押す
2 スイッチカバーを開けて、(登録) を押す
3 (表示切替) を押している間、次の表示になります。



4 表示を終わるとき、(解除) を押す

① 総録音件数
・現在録音されている総録音件数を表示します。

② 有効録音件数
・保存された録音も含め録音された件数のうち、実際に用件が録音された件数を表示します。

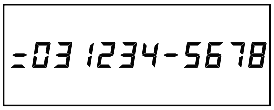
③ 録音残時間
・用件メッセージが録音できる時間を、【分：秒】で表示します。

着信記録の表示のしかた

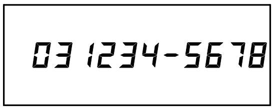
◎ ナンバー・ディスプレイに加入して、かつナンバー・ディスプレイに対応した端末が接続されているときは、かけてきた相手の電話番号を確認できます（着信記録)。

1 待機中または留守セット中に、スイッチカバーを開けて、 (表示切替) を押すと、一番新しくかかってきた相手の電話番号が次のように表示されます。

① 留守セットがされているときに、かかってきた相手



② 留守セットがされていないときに、かかってきた相手

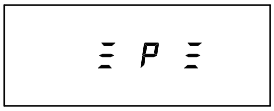


2 表示中に、
・(後スキップ) を押すと、次の着信記録を表示します。
・(前スキップ) を押すと、１つ前の着信記録を表示します。
・(表示切替) を押している間、録音の件目と着信時刻を表示します。

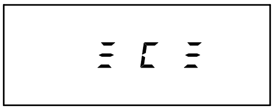
3 約２分間、何もしないと、自動的に、表示が消えます。(留守セット中のとき、(解除) を押すと留守セットが解除になります。)

● 相手の電話番号が表示されずに、次のように表示されることがあります。

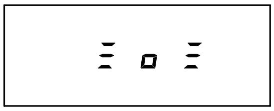
① 相手が「184」をダイヤルしてからかけてきたとき



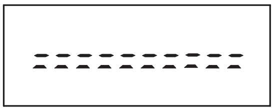
② 相手が公衆電話からかけてきたとき



③ 相手が、ナンバー・ディスプレイサービスのない地域からかけてきたとき



④ 着信記録がないとき



※ 上記①～④以外に相手の電話番号が検出できなかったときや送られて来なかったときには、【E】または【-】を表示することがあります。

ワンポイント

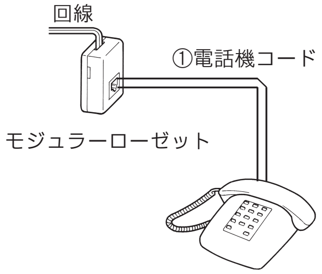
● 最大 141 件まで記録します。141 件を越えると、一番古い着信記録から順次消去します。
● 表示中に、 (消去) を約２秒押し続けると、「ピー」と鳴って、すべての着信記録が消去されます。(個別に消去はできません)

電話回線／電源を接続する

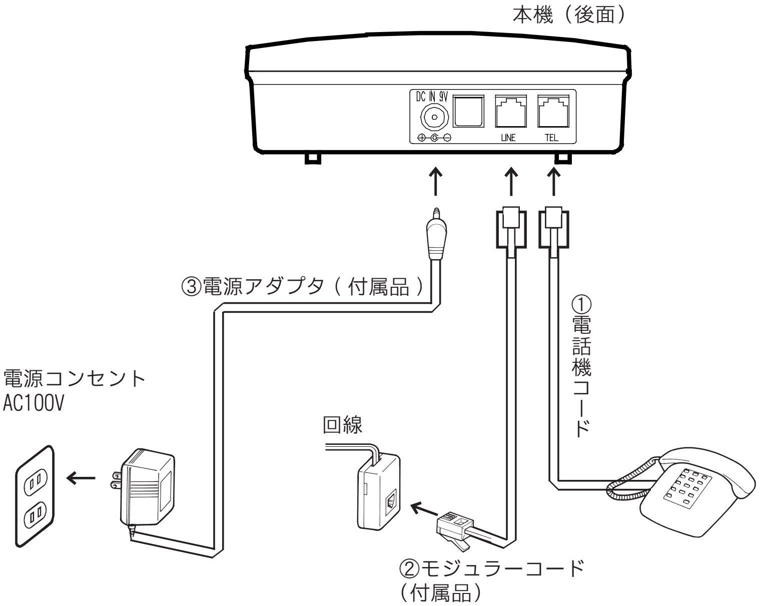
■単独電話の場合

① 電話機コードをモジュラーローゼットから抜き、本機の電話機用モジュラージャック《TEL》に差し込みます。
② 添付のモジュラーコードを電話回線用モジュラージャック《LINE》に差し込み、もう一方をモジュラーローゼットに差し込みます。
③ 添付の電源アダプタを本体の電源アダプタ用ジャックと電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

取付前



取付後

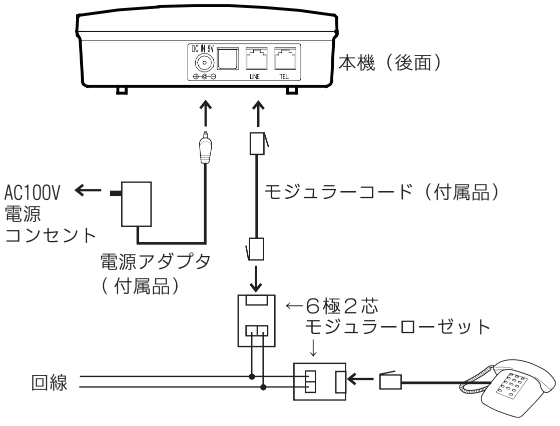


STOP お願い

- モジュラーコードを差し込むときは、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- モジュラーコードを引き抜くときは、レバーを押さえながら引き抜いてください。

■簡易接続について

本機の《LINE》だけに接続して使用することもできます。



ワンポイント

- 簡易接続をした場合、自動通話録音ができないことがあります。
  上記の接続に変更するか、手動通話録音でご使用ください。(→ P.22)
- 簡易接続をした場合、留守セット時に、20PPS でダイヤルすると、ベルと誤判定して、本機が動作することがあります。
  上記の接続に変更してください。
- お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイは未加入の設定になっています。
  ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、対応電話機に設定を変更してください。
  (→ P.34 ⓬)
- ナンバー・ディスプレイに加入している場合は、必ずナンバーディスプレイ対応電話機をご利用ください。非対応電話機を接続したときは、ナンバーディスプレイの表示がされません。

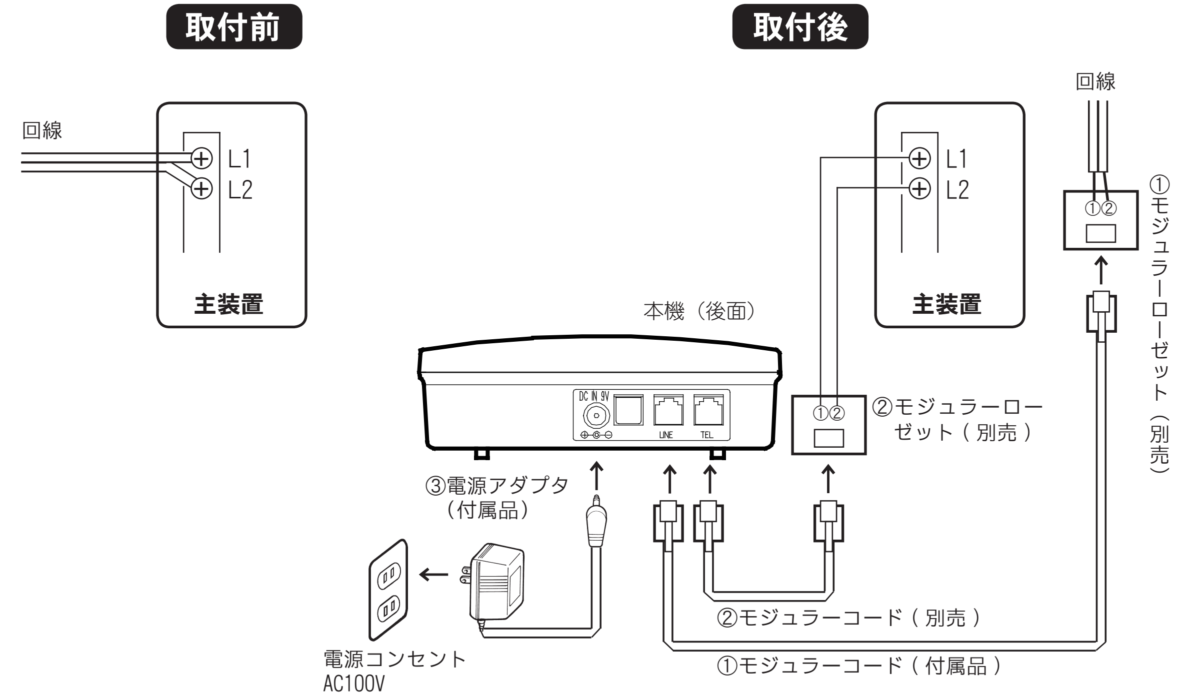
■ビジネスホン・ホームテレホンなどの場合

この場合は工事が必要になりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。（工事は有料です。）

① 主装置から回線をはずし、はずした回線をモジュラーローゼット（６極２芯）に接続します。
本機の《LINE》側と回線側のモジュラーローゼットをモジュラーコード（２芯）で接続します。

② 主装置の L1,L2 端子をモジュラーローゼット（６極２芯）へ接続します。
本機の《TEL》側と主装置側のモジュラーローゼットをモジュラーコード（２芯）で接続します。

③ 添付の電源アダプタを本体の電源アダプタ用ジャックと電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



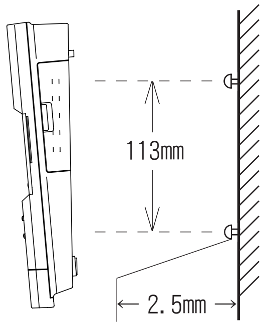
ワンポイント

- ビジネスホンの種類によっては、ベル信号で本機が正常に動作しない場合があります。
  この場合は、《LINE》（回線）側の極性および《TEL》（電話機）側の極性を両方とも入れ替えてください。
- 構内交換機などの内線側に接続したとき、正常に動作しない場合があります。
  この場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

壁掛けができます

1. 間隔約 113mm で、しっかりした壁や柱などに、垂直に、添付のネジを取り付け（首下約 2.5mm）ます。

2. 本体底面のネジ取り付け用ミゾへネジを合わせ掛けます。



STOP お願い

- ベニア板や石膏ボード板など薄い板壁には直接取り付けないでください。
  はずれて落下する場合があります。
- 取り付けに磁石を使用しないでください。
  正常に動作しない場合があります。

113mm

ネジを取り付けるとき、位置合わせにご利用ください

0mm

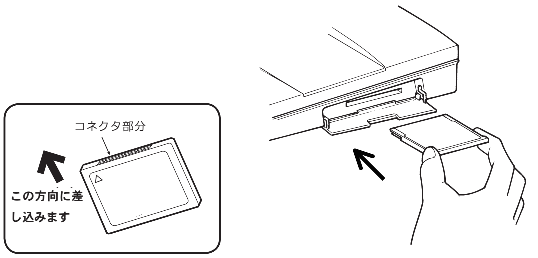
留守番電話の準備をする

メモリーカードを取り付ける

◎添付のメモリーカードを入れます。

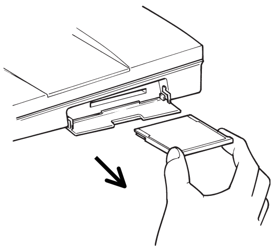
■入れかた

1 メモリーカバーを開けます。
2 動作ランプが消灯していることを確認します。
3 メモリーカード挿入口から、ラベル面を上にして、しっかり奥まで差し込みます。



■出しかた

1 メモリーカバーを開けます。
2 動作ランプが消灯していることを確認します。
3 メモリーカードの両端を、手でつまんで引き出します。



メモリーカードについて

● メモリーカードは、交換ができます。
・メモリーカードを本機から抜いてもメッセージが消えることはありません。
・予め録音したメモリーカードを用意しておけば、カセットテープと同じように、応答メッセージを交換してご利用になれます。
・録音された用件メッセージを保存することができます。

● １枚のメモリーカードで３種類の応答メッセージが録音できます。
ご利用形態にあわせて応答メッセージを使い分けることが可能です。
使用例：
メッセージ１：平日の業務終了案内
メッセージ２：休日／祝祭日の案内
メッセージ３：臨時休業の案内

● メモリーカードは、次の２種類（別売）あります。
・60分用
AT-D770用メモリーカード H-FC「60M」
・120分用
AT-D770用メモリーカード H-FC「120M」
※上記の時間内で、３種類の応答メッセージと用件メッセージが録音できます。

STOP お願い

● メモリーカードを出し入れするときは
・必ず、動作ランプが消灯していることを確認してください。
・動作ランプが点灯中に、メモリーカードの出し入れを行うと、メモリーカードが壊れたり、録音時間が短くなる場合があります。

● メモリーカードに重いものをのせたり、強い力を加えないでください。

● 差し込む方向を間違うと機器を破損することがあります。ご注意ください。

ワンポイント

● メモリーカードが入っていないときや入れかたが悪いときはディスプレイに［CArd］が点滅し、応答ランプ１～３の全部が点滅し、「ピピ」とアラーム音が鳴ります。このときは、全ての操作が行えません。

● 「AT-D770」用以外のメモリーカードを入れたときはディスプレイに［CArd Err］が点滅し、応答ランプ１～３の全部が点滅し、「ピピ」とアラーム音が鳴ります。このときは、全ての操作が行えません。

● メモリーカードが正しく入っているときは、選択ボタンで選ばれた応答ランプが
・点滅しているときは、応答メッセージが録音されていません。
・点灯しているときは、応答メッセージが録音されています。

時計を合わせる

◎ 内蔵の時計に、現在の曜日と時刻を登録します。時計を登録すると、用件が録音された曜日と時刻（タイムスタンプ）をディスプレイに表示したり、合成音で拡声することができます。

■登録のしかた

1

(解除)を押す

2

スイッチカバーを開け、
(登録)を押す

ディスプレイは、【--------】を表示します。
動作ランプが点灯します。

3

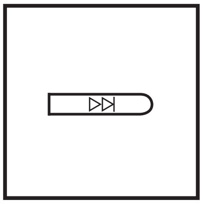
(応答／時刻)を押す

ディスプレイは、時刻登録表示になります。

4

「曜日」の登録
(戻し)または(送り)で現在の「曜日」を選ぶ

5

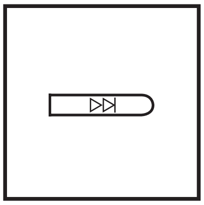


(後スキップ)を押す

6

「時」の登録
(戻し)または(送り)で現在の「時」を選ぶ

7



(後スキップ)を押す

8

「分」の登録
(戻し)または(送り)で現在の「分」を選ぶ

9

(登録)を押す

ディスプレイは、「曜日／時刻」を表示したあと、【--------】を表示します。

10

(解除)を押す

ディスプレイは、「曜日／時刻」を表示します。

■時刻を修正する

→ 手順１からやり直す

■時刻を正確に合わせる

→ 手順８のとき現在時刻の１分後を選び、ちょうど０秒になったとき手順９を行う

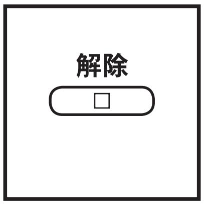
ワンポイント

● 約１日以上停電があると、時計の登録は消去されます。
通電後、手順１から登録をし直してください。

応答メッセージを録音する

◎ ご使用の前に、メモリーカードへ応答メッセージを録音します。
◎ 相手に用件録音を依頼する「応答録音用メッセージ」と用件録音をしない「応答専用メッセージ」とは録音方法が異なります。

■応答録音用メッセージを録音する

1


（解除）を押す

2

（選択）を繰り返し押して、応答メッセージの番号を選ぶ

選んだ応答メッセージのランプが点滅または点灯します。

3

スイッチカバーを開け、（応答／時刻）を押し続ける（約２秒間）

動作ランプが点灯します。

4

「ピッピッピー」と鳴ったら、手を離し、マイクに向かって録音を始める

ディスプレイは応答メッセージ番号と録音時間を表示します。

5

録音が終わったらもう一度、（応答／時刻）を押す

「ピー」と鳴って、今録音したメッセージが聞こえます。

■応答専用メッセージを録音する

上記の手順で、

1 手順３のとき、（応答専用／暗証番号）を押す
2 手順５のとき、（応答専用／暗証番号）を押す
（ ディスプレイは【応答専用】を表示します ）

■応答メッセージを再生する

1 （選択）を押して、応答メッセージの番号を選ぶ
2 （応答再生／機能登録）を押す

■応答メッセージを消去する

1 （解除）を押す
2 （選択）を押して、応答メッセージの番号を選ぶ
3 （応答再生／機能登録）を押す
4 メッセージ再生中に（消去）を約２秒以上押し、「ピー」と鳴ったら手を離す

■テープレコーダから録音するとき

1 あらかじめテープレコーダへ応答メッセージを録音しておきます。
2 テープレコーダを再生し、応答メッセージの冒頭で一時停止しておきます。
3 テープレコーダ接続コード (市販品を使用してください。) で、テープレコーダの出力 (イヤホンジャック等) と本機左側面の「テープジャック」を接続します。
4 左記「応答録音用メッセージを録音する」の手順で、
① 手順４で、「ピッピッピー」と鳴ったら、テープレコーダを再生させます。
・スピーカから録音中のメッセージが聞こえます。
・マイクとのミキシング録音はできません。
② 録音が終わったら手順５へ進みます。

出荷時のメモリーカードには、応答メッセージ１，２に応答録音用メッセージ、応答専用メッセージがそれぞれ録音されています。(内容は→ **P.34**)
応答メッセージ 1，2 に新たな録音をしますと、このメッセージは消去されます。

ワンポイント

- 録音のやり直しは、手順 1 から行ってください。
- 録音は、マイクから 20 ～ 30cm の位置で行ってください。
- 応答メッセージが３種類録音できます。**(→ P.11)**
- 一つの応答メッセージの最大録音時間は５分です。
- 応答メッセージの再生音量は、（音量）で調節できます。**(→ P.6)**

留守セットをする

◎ 相手の用件を録音する「応答録音」と相手の用件を録音しない「応答専用」の２とおりの使いかたができます。

留守セットをする

1

(解除)を押す

2

(選択)を繰り返し押し、応答メッセージの番号を選ぶ

選んだ応答メッセージのランプが点灯します。
応答専用のときは、ディスプレイに【応答専用】と表示します。

3

(留守)を押す

「ピッピッピー」と鳴って、留守ランプが点灯または､点滅（未再生メッセージがあるとき）します。
自動呼出機能を使うときは、呼出ボタンを押します。**(→ P.21)**

ワンポイント

- 応答録音で留守セットすると、メッセージを保存しない場合、一度でも再生した用件は、自動的に消去され、同時に録音件数もクリアされます。（リモコン再生した用件も消去されます。）
- 録音された用件を消去せず、保存して留守セットをしたいときは、機能登録の「用件保存して留守セット」を「する」に設定してください。**(→ P.33 ❹)**
- 録音された用件でメモリーカードの残容量が少なくなった時、録音量の表示がゆっくり点滅し、メモリーカードの残容量が少ないことをお知らせします。（不要な録音内容を再生後消去することをお勧めします。）
- 残容量の表示が早く点滅する（用件録音のメモリーカードの残容量がないとき）か、FULL の表示が点滅する（用件が 160 件を越えたとき）場合は、(留守)を押しても､「ピピ･･･」と鳴って留守セットはできません。
  録音済みの用件を再生後消去してから留守セットしてください。**(→ P.17)**

留守セットを解除する

1

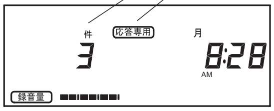
(解除)を押す

留守ランプが消灯します。
（未再生の用件メッセージがあるときはゆっくり点滅します。）

ワンポイント

- 選択した応答メッセージのランプが点滅しているとき（該当の応答メッセージが録音されていないとき）は、留守セットができません。
- 留守セット時に録音件数が表示されているときは、未再生の用件が残っている場合です。
- 応答専用で留守セットすると、総着信件数は０件になります。
- 総着信件数は、本機が応答したすべての着信件数です。
- 応答専用メッセージが選択されているときのディスプレイ表示

総着信件数（最大 9999 件）　応答専用表示



- 応答録音用メッセージが選択されているときのディスプレイ表示

録音件数（最大 160 件）

■留守中の動作

1 呼出音が１回鳴ると、電話がつながる

呼出音にあわせて、動作ランプが点滅します。
ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、相手の電話番号が表示されます。

2 相手に応答メッセージが聞こえる

スピーカからも応答メッセージが聞こえます。
応答専用メッセージのときは、応答メッセージ送出後、電話が切れます。

3 相手の用件を録音する

スピーカから相手の声が聞こえます。
用件の録音が終わると、電話が切れます。

居留守応答するには

- 手順３のとき、電話機から応答します。
  本機の留守番動作は停止し、相手と直接通話ができます。ただし、ビジネスホンに設置の場合、電話機で応答できないことがあります。
- 相手の声は、音量ボタンで調節できます。
  (→ P.6)

ワンポイント

- 相手の声が小さい場合や、何も話さない場合は、８秒後に録音が停止し、電話が切れます。
- イヤホンを接続していると、スピーカからは音が出ません。

❶

留守機能の変更ができます

- 留守応答するまでの呼出回数を１～９回に変更できます。**(→ P.33 ❶)**
  ・お買い上げ時は、呼出音１回で応答します
- 用件録音の制限時間を変更できます。
  (→ P.33 ❸)
  ・お買い上げ時は、１件あたり３分間（メモリーカードの残容量以内で）録音できます。
  ・１件あたり１～９分または無制限に変更できます。
- 用件を保存して留守セットができるように変更ができます。**(→ P.33 ❹)**
  ・お買い上げ時は、一度再生した用件は消去して留守セットします。
- 用件が録音された曜日・時刻（タイムスタンプ）を合成音で拡声することができます。
  (→ P.33 ❺)

用件録音について

- 用件はメモリーカードにメモリーカードの容量（60 分もしくは 120 分）から応答メッセージの録音時間を引いた時間または総録音件数 160 件まで録音できます。
  ただし、120 分を使用するときは、H-FC「120」(別売品) が必要です。
- フラッシュメモリーカードを採用していますので、停電になっても録音内容が消えることはありません。

用件を再生する

◎ 留守中に用件が録音されているときは、留守ランプが点滅し、ディスプレイに録音件数が表示されています。

用件を再生する

1

(解除)を押す

留守ランプがゆっくり点滅します。

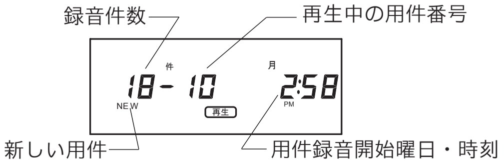
2

(再生)を押す

新しい用件の一番目を再生します。すべての用件の再生が終わると、「ピピ･･･」と鳴って、再生が解除になります。
留守ランプが消灯します。

ワンポイント

- 留守セットのまま、(再生)を押すと、用件を一時再生します。再生後、留守セットを継続します。
- 再生音量は、(音量)で調節できます。(→ P.6)
- イヤホンを接続していると、スピーカからは音が出ません。
- 再生済みの用件を再生するには
  - ・新しい用件の一番目を再生中に、(前スキップ)を２回押すと、再生済みの用件メッセージの最後に移ります。さらに(前スキップ)を押すことによって前の再生済みの用件メッセージに移ります。
  - ・新しい用件が録音されていないときは、(再生)を押すと、再生済みの用件メッセージの最初から再生します。
- 再生中のディスプレイ表示



（巻戻・早送中は、用件再生経過時間）

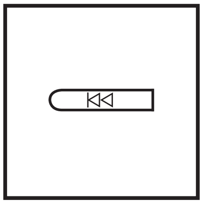
※ ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、再生中に(表示切替)を押すと、現在再生中の相手の電話番号が表示されます。

※ 再生が終わると【END】の表示がでます。

- 用件が録音されていなくても、雑音などで録音件数に加算される場合があります。

次の操作は、再生中のみ有効です。

■リピート再生・バック再生する



(前スキップ)を押す

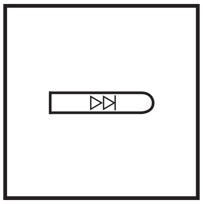
- １回押すと、現在の用件の頭へ戻って再生する（リピート再生）
- ２回押すと、一つ前の用件の頭へ戻って再生する（バック再生）

■巻き戻しする

(戻し)を押し続ける

- その用件の中で巻き戻しする。

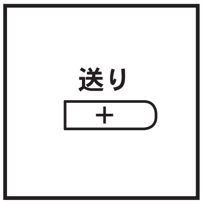
■スキップ再生する



(後スキップ)を押す

- １回押すと、次の用件の頭へスキップして再生する（スキップ再生）

■早送りする



(送り)を押し続ける

- その用件の中で早送りする。

■再生を一時停止する

(再生)を押す

- 再生が一時停止する
- もう一度、(再生)を押すと、再生が再開する

一時停止中に、約１分間再生をしないと、再生が再開します。

◎再生済みの用件は、次の操作で消去できます。
（機能登録の「用件を保存して留守セット」を「しない」に設定してあるときは、留守ボタンを押すと、未再生の用件だけを残し他の用件は自動消去されますので、この操作を行う必要はありません。）

用件を消去する

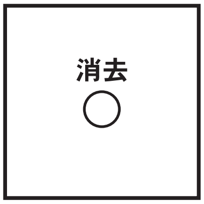
■用件ごとに消去する

1

再生 を押す

前スキップまたは後スキップで、消去したい用件を再生します。

2



《消去したい用件を再生中に》
消去 を約２秒以上押し続け「ピー」と鳴ったら手を離す

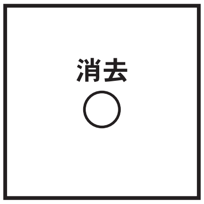
用件が消去されると、次の用件の再生になります。消去ボタンを押せば続けて消去できます。

■用件を一括して消去する

1

解除 を押す

2



消去 を約２秒以上押し続け、「ピッピッピッピー」と鳴ったら手を離す

保存された用件も一括して消去されます。

ワンポイント

- 再生中に早送りやスキップ操作で、次の用件まで送った場合は、再生済みとみなし消去しますのでご注意ください。
（リモコン再生時も同様です。）
- 消去中は、次のように表示されます。

ワンポイント

- 未再生用件および最後まで再生していない用件は消去できません。
（用件ごとに消去する場合は、再生途中でもその用件は消去できます。）
- 一時再生（留守セットのまま再生すること）だけ行った用件は、再生済みとなりませんので一括消去できません。
- 一括消去中は、次のように表示されます。

自動呼出をする

◎ 用件が録音されると、ポケットベルや携帯電話を呼び出したりすることができます。

ポケットベルなどを呼び出すとき

◎ 呼出先の電話やポケットベルは 3 カ所まで登録できます。
◎ 登録した 3 カ所のうち 1 カ所を選択して呼び出したり、3 カ所を順に呼び出したりできます。

■登録のしかた

1

解除 を押す

2

スイッチカバーを開け、
登録 を押す

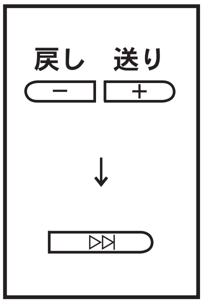
ディスプレイは、【--------】を表示します。
動作ランプが点灯します。

3

「呼出番号」の登録
呼出 1 ～ 3 を押す

ディスプレイは、番号登録表示になります。

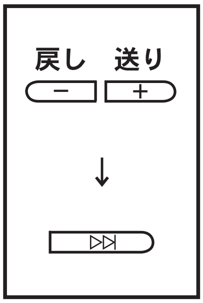
4



「呼出先の種類」の登録
戻し または **送り** で呼出先の種類を選ぶ

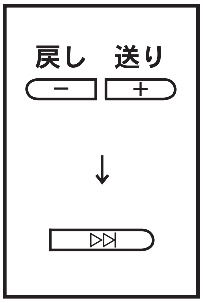
ポケットベルは【　】
携帯電話は【　】
電話機は【　】
を選ぶ
選んだあと、**後スキップ** を押す

5



「回線種別」の登録
ダイヤル回線のときは、手順6へ進む
プッシュ回線のときは、
戻し または **送り** で【　】を選ぶ
選んだあと、**後スキップ** を押す

6



「電話番号」の登録
戻し または **送り** で 1 桁目の番号を選び、**後スキップ** を押す
この手順で、電話番号の全桁を登録する

最終桁の次に E (登録終了) が点滅しています。

7

登録 を押す

ディスプレイは、[CHE] を表示したあと、【--------】を表示します。

8

解除 を押す

構内交換機の内線に設置したときは

手順6のまえに
1 **戻し**／**送り** で、外線発信番号（通常は「0」）を選び、**後スキップ** を押す
2 **戻し**／**送り** で、3 秒ポーズ「P」を選び、**後スキップ** を押す
3 続いて、手順6から登録する

ワンポイント

● 登録できる桁数は、番号やポーズ・データなどを含め最大 75 桁です。
● 電話回線の種類で、登録方法の一部が異なります。登録の前に回線種別をお確かめください。

登録内容の表示順番について

● 手順５と手順６のカウンタの表示は、
（送り）を押すごとに、以下の順番でかわります。
【E→1→2・・・・→0→├→H→ロ→P→L→E】
（戻し）を押すと、順番は反対になります。
●【ロ】または【L】を選んだときは、それ以降に登録した番号は、プッシュ信号になります。
● 各表示は以下のはたらきをします。

表示	0～9	├	H	ロ	P	L	E
働き	数字の信号	[✱]信号	[＃]信号	プッシュ信号	３秒ポーズ	10 秒ポーズ	登録終了

【ロ】または【L】を一度登録すると表示は【⊓】となります。

表示	⊓
働き	ナンバーディスプレイ

■呼出先を確認する

→ 手順１・２・３と押す（登録内容を表示します）
電話番号等が 12 桁以上あるときは、（後スキップ）で順送りする
確認後は（解除）を押す

■呼出先を消去する

→ 手順１・２・３のあと、（消去）を約２秒以上押し続け「ピー」と鳴ったら手を離し、（解除）を押す

■呼出先を変更する

→ 全部変更するとき

左記の要領で消去後、手順１から新しい呼出先を登録する

→ 部分変更するとき

1 手順１・２・３と押す
2 変更したい番号等を（前スキップ）／（後スキップ）で選ぶ（点滅中の番号が１桁づつ変更できます）
3 変更・追加・消去をする
● 番号を変更するとき
・（戻し）／（送り）で新しい番号を選びます。
● 番号を追加するとき
・（通録）を押す（点滅中の数字の前にEが追加され点滅します）
・（戻し）／（送り）で新しい番号を選びます。
● 消去するとき
・（消去）を押す
4 （登録）を押す
5 （解除）を押す

ディスプレイ・ポケットベルを呼出先に指定する場合の登録例

例：ディスプレイ・ポケットベルを呼びだし、ディスプレイに「１２３（ナンバー･ディスプレイ）」を表示させる。

● **ポケットベル番号の登録**

1「登録のしかた」の手順１～６の方法でポケットベル番号を登録する

● **メッセージ表示データの登録**

2　回線種別の指定

・電話回線が、プッシュ回線のときは、次の手順３(ポーズの登録) へ進む

・電話回線が、ダイヤル回線のときは、**戻し**／**送り**で、「ロ」を選んで、**後スキップ**を押す

3　ポーズの登録

・**戻し**／**送り**で、「L」を選んで**後スキップ**を押す

・**戻し**／**送り**で、「P」を選んで**後スキップ**を押す

同じ手順で、「P」を計３回登録する

4　表示メッセージの登録

・**戻し**／**送り**で、表示させたいデータを選んで、**後スキップ**を押す

例では、「１→**後スキップ**→２→**後スキップ**→３→**後スキップ**」の順に登録する

5　ナンバーディスプレイの登録

「ロ」、「L」の後は、「ロ」が「⊓」になります。

戻し／**送り**で、「⊓」を選んで**後スキップ**を押す

かけてきた相手先のナンバー・ディスプレイが付加されます。

6　メッセージの終了信号（＃＃）の登録

・**戻し**／**送り**で、「ㅂ」を選んで、**後スキップ**を押す

同じ手順で、「ㅂ」を計２回登録する

● 続いて、「登録のしかた」の手順７～８の方法で登録する

ワンポイント

● ディスプレイに表示させるメッセージについて詳しくはディスプレイ・ポケットベルの取扱説明書をご覧ください。

● 手順３のポーズの登録は、ポケットベル会社がディスプレイ情報を受け取るのに必要な時間を調整するためのものです。例では「L」を１回、「P」を３回で合計 19 秒のポーズ設定になります。調整が必要な場合は、「P」の回数で調整します。(「L」は、必ず、登録してください)

ワンポイント

● 携帯電話へショートメール転送する場合は、呼出先の種別をポケットベルにしてください。

● 携帯電話への呼び出しで留守番電話サービスが契約されているときは、呼出先の種別を電話機にしてください。

自動呼出をセットする

1

(留守) を押して留守セット状態にする

2

(呼出 1～3) を押す

ディスプレイは呼出番号を表示します。
呼出番号は複数セットできます。

ワンポイント

- 呼出先を解除するときは、(呼出 1～3) を押して、ディスプレイの呼出表示を消します。
- 留守セットになっているときにしか、セット／解除できません。また、一度、呼出セットすると、呼出解除するまで、セットは有効です。
- 呼出番号が登録されていないときは、「ピピ･･･」と鳴って、セットできません。
- 呼出先を複数セットしたときは、追いかけ呼び出しができます。
  - ・用件が録音されると、セットされた一番若い番号の呼出先を、最初に、呼び出します。
  - ・リモコン再生されなかったときは、次の若い番号の呼出先を呼び出します。
  - ・呼出先を一巡して１回の呼出回数になります。
- 雑音などが、録音されたときも、自動呼出をする場合があります。

呼出テストをするには

呼出先の番号が正しく登録されているかを実際に呼び出してテストできます。

1 (解除)(登録)の順に押す
2 テストしたい(呼出 1～3)を押す
3 (登録)を押す
4「ピー」と鳴って、約８秒間、【CHE】を表示中に(呼出 1～3) を押す（【CALL】が表示されて、登録した番号を自動的にダイヤルします）
5 テストが終わったら(解除)を押す

呼び出されて用件を聞く

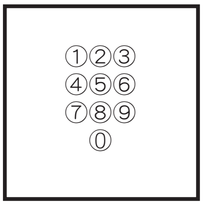
■呼出先が通常の電話機のときは

1

呼び出されて、電話にでると･･･

「ピピピ」という音が聞こえ、本機からの自動呼出ということがわかります。

2



リモコン暗証番号を押す

録音された用件が聞こえます。
リモコン操作ができます。
用件を聞き終わったら電話を切ります。

■呼出先が携帯電話のとき

→ 電話にでると、用件が聞けます（暗証番号を押す必要はありません）

■呼出先がポケットベルのとき

→ ポケットベルが鳴ったら、本機へ電話をかけ、リモコン再生をする

構内交換機の内線に接続したとき

- 携帯電話のとき、電話にでただけでは、リモコン再生しないことがあります。このときは、「ピピ･･･」という音が聞こえたら暗証番号の１桁目を押すと、リモコン再生になります。

呼出回数・間隔が変更できます

- お買い上げ時は、呼び出してもリモコン再生されなかったとき 15 分間隔で最大３回呼び出します。登録により、間隔は、５分または 10 分に、呼び出し回数は、１回から９回に変更ができます。(→ P.33 ❼❽)

ワンポイント

- 携帯電話の場合、応答すると次の自動呼出はキャンセルされます。不応答、話中、電源 OFF、圏外の場合、呼出回数分呼出します。
- 携帯電話と一般電話が混在する場合の呼出動作
  たとえば、「呼出 1：①携帯電話、呼出 2：②固定電話、呼出回数 :3 回、間隔 :5 分」の場合、呼出 1,2 が応答しなかったときの動作は、
  【①→（5 分）→②】を 5 分間隔で 3 回繰返し、終了となります。

通話録音をする

通話中の会話を録音することができます。録音は、次の２とおりの方法があります。

◎ 手動通話録音‥‥‥(通録)を押すと録音を開始し、再度(通録)を押すと録音を終了します。

◎ 自動通話録音‥‥‥受話器を上げると録音を開始し、受話器を下ろすと録音を終了します。

手動通話録音をする

1

録音開始

《通話中、録音したいときに》

(通録)を押す

録音中は、通録ランプと動作ランプが点灯します。ディスプレイは録音時間と件数を表示します。
(ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、相手の番号表示を継続します。)

2

録音終了

《録音をやめるときに》

(通録)を押す

通録ランプと動作ランプが消灯します。

自動通話録音をする

1

準備

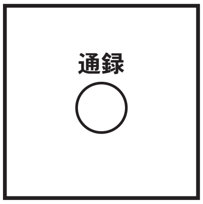
機能設定の「自動通話録音(→ P.33 ❾)」を下記のように設定変更する

・ 簡易接続の場合(→ P.9)は、「回線電圧起動」に設定変更する

・ 簡易接続でない場合は、「シリーズ電話機起動」に設定変更する

お買い上げ時は、「自動通話録音」を「しない」に設定されています。

2

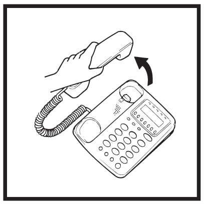


録音待機のセット

(通録)を押す

自動通話録音がセットされると、通録ランプが点灯します。

3

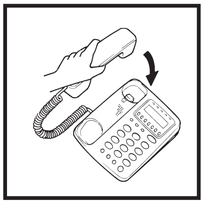


録音開始

受話器を上げると、録音を開始する

録音中は、通録ランプと動作ランプが点灯します。

4



録音終了

受話器を下ろすと、約２秒後に録音を終了する

動作ランプが消灯します。
通録ランプは点灯しています。

■通話録音の内容を再生するには

1

(再生)を押す

すべての録音内容の再生が終わると、「ピピ‥‥」のあと、再生が解除になります。

※ 巻き戻しや早送りなど再生中の操作は、「用件を再生する(→ P.16)」と同じ操作で行うことができます。

■自動通話録音を解除する

→ 再度、(通録)を押す(通録ランプが消灯します)

タイマーをセットする

◎ 週間タイマーで、指定した曜日・時刻に、自動的に「留守セット」や「留守解除」ができます。
◎ あらかじめタイマープログラム表（25 ページ）に記入してください。留守セットや留守解除は、最大 30 ステップまで登録できます。

タイマーを登録する

■タイマーを登録する

1

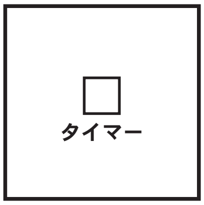
(解除)を押す

2

スイッチカバーを開け、(登録)を押す

ディスプレイは、【--------】を表示します。
動作ランプが点灯します。

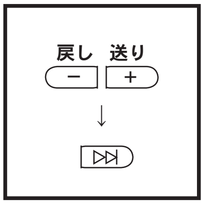
3



(タイマー)を押す

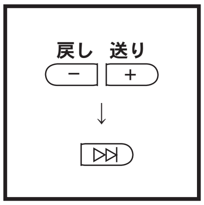
ディスプレイは、ステップ番号の選択表示になります。

4



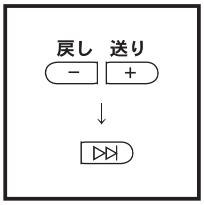
ステップ番号の選択
(戻し)／(送り)で、ステップ番号を選び、(後スキップ)を押す

5



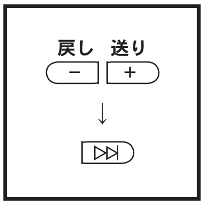
メッセージ番号の登録
(戻し)／(送り)で、メッセージ番号を選び、(後スキップ)を押す
留守解除のときは、「0」を登録する

6



曜日の登録
(戻し)／(送り)で、留守セットまたは解除する「曜日」を選び、(後スキップ)を押す

7

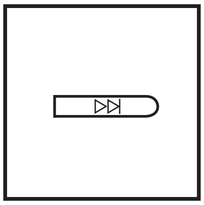


「時」の登録
(戻し)／(送り)で、留守セットまたは解除する「時」を選び、(後スキップ)を押す

8

「分」の登録
(戻し)／(送り)で、留守セットまたは解除する「分」を選ぶ

9



(後スキップ)を押すと、次のステップ番号に進み、続いて登録ができます

10

終わるときは、(登録)を押す

ディスプレイは、【--------】を表示します。

11

(解除)を押す

タイマーをセットする

■タイマーを確認する

→ 手順１・２・３と押す（登録内容を表示します）続いて（戻し）／（送り）を押すと、登録内容が、順次確認できます

■タイマーを消去する

→ 上記の要領で消去したい内容を表示させて、次の操作をする

1 （消去）を押す
　・一つ先のタイマー登録が表示されます

2 （登録）を押す

3 （解除）を押す

■タイマーを変更する

→ 手順１からやり直す

ワンポイント

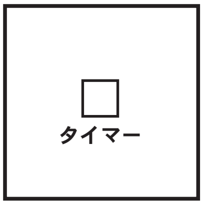
- お買い上げ時は、留守解除時刻になると、留守解除警告音（ピピピピ･･･）の後、「留守を解除する時刻になりました」とアナウンスするだけで自動的に留守解除にはなりません。
留守解除時刻になると、自動的に留守セットを解除するように設定変更ができます。
（→ P.33 ❻）
- タイマー機能を使うときは、必ず時計を合わせてください。**（→ P.12）**
- タイマーマークは、タイマー留守解除中は点滅、留守セット時刻になると点灯します。
- タイマー留守セットの時刻前に手動で留守セットしたいときは、（留守）を約２秒以上押し続けてください。
手動で留守セットになると、指定した応答メッセージで応答しますが、タイマーの留守セット時刻になると、タイマーで指定した応答メッセージに変わります。
- 応答メッセージがないチャンネルにはタイマーセットはできません。
- 指定した応答メッセージがない時にタイマーセットするとタイマーエラー表示（タイマーマークが早く点滅）になります。

タイマーをセットする

1

（解除）を押す

2



スイッチカバー開け、（タイマー）を押す

ディスプレイのタイマーマークが点灯または点滅します。

3

留守セット時刻になると、自動的に留守セットになる

ディスプレイのタイマーマークが点灯します。
留守ランプが点灯または、点滅（未再生の用件メッセージがあるとき）します。

4

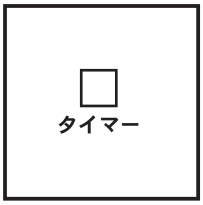
留守解除時刻になると、留守解除を警告音（ピピピピ･･･）の後、「留守を解除する時刻になりました」とアナウンスで知らせるかまたは、自動的に留守セットを解除する**（設定変更が必要です→ P.33 ❻）**

用件が録音されていると、「ピーピー」と鳴ります。
ディスプレイのタイマーマークが点滅します。
留守ランプが消灯または、ゆっくり点滅（未再生の用件メッセージがあるとき）します。

※ 用件録音があるときは、続いて、用件再生をしてください。**（→ P.16）**

タイマーを解除する

1



（タイマー）を押す

ディスプレイのタイマーマークが消えます。

タイマープログラム表

作成：＿＿＿年＿＿月＿＿日

番号	応答メッセージ番号				曜日							セット／解除の時刻		備考
	留守セット			解除								AM/PM	時：分	
1	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
2	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
3	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
4	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
5	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
6	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
7	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
8	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
9	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
10	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
11	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
12	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
13	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
14	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
15	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
16	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
17	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
18	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
19	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
20	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
21	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
22	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
23	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
24	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
25	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
26	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
27	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
28	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
29	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	
30	1	2	3	0	月	火	水	木	金	土	日	AM・PM	：	

※ このタイマープログラム表で作成した順番と、ディスプレイで表示される順番は、異なる場合があります。ディスプレイの表示は、月曜日から順に表示されます。

リモコン操作をする

◎ 外出先からリモコン操作によって、再生、留守セットなどができます。

暗証番号を登録する

◎リモコン操作をする前に暗証番号を登録してください。
◎暗証番号は、４～８桁の任意の番号が設定できます。

■暗証番号の登録のしかた（４桁のとき）

1

（解除）を押す

2

スイッチカバーを開け、
（登録）を押す

ディスプレイは、【--------】を表示します。
動作ランプが点灯します。

3

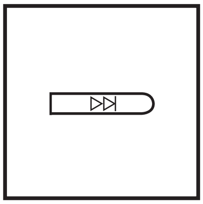
（応答専用／暗証番号）を押す

ディスプレイは、暗証番号の登録表示になります。

4

１桁目の登録
（戻し）または（送り）で、１桁目の暗証番号を選ぶ

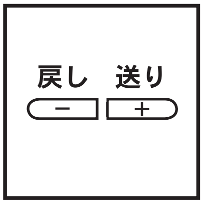
5



（後スキップ）を押す

１桁目が登録されました。

6



２～３桁目の登録
手順４および手順５と同じ方法で２～３桁目の暗証番号を登録する

7

４桁目（最終桁）の登録
（戻し）または（送り）で、４桁目（最終桁）の暗証番号を選ぶ

8

（登録）を押す

ディスプレイは、今登録した暗証番号を表示したあと、【--------】を表示します。

9

（解除）を押す

■暗証番号を確認する

→ 手順１・２・３の順にボタンを押す（登録済みの暗証番号を表示します）。確認後は、（解除）を押す。

■暗証番号を消去する

→ 手順１・２・３のあと（消去）を約２秒以上押し続け、「ピー」と鳴ったら手を離し、（解除）を押す。

■暗証番号を変更する

→ 暗証番号を上記の手順方法で消去後、手順１から新しい暗証番号を登録する。

リモコン再生をする

1

本機へ電話をかける

2

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⓪

《応答メッセージ再生中に》
暗証番号を押す

暗証番号を受け付けると、「ピー」という信号音が聞こえます。

3

用件の録音件数に続いて、用件が再生される

再生中は、リピート再生やスキップ再生などができます。**(→ P.28)**

4

すべての用件を聞き終わると、「ピピ･･･」という再生終了音が聞こえる

■リモコン再生だけのとき

→ ここで電話を切る

■各種リモコン機能を使うとき

→ 「その他のリモコン操作をする **(→ P.28)**」を行う

再生の順序

● 再生は次のような順序で進みます。

録音件数 | 曜日時刻 | 用件① | ピー → 曜日時刻 | 用件② | ピー →･･･

● 再生終了音のあと、10 秒間何もしないと電話が切れます。

「ピピ･･･」(再生終了音) → 10 秒間の無音

この間に「その他のリモコン操作をする」の操作を始める

■暗証番号を受け付けしないとき

→ 暗証番号を押し直す

■用件が録音されていないとき

→ 手順３で、「新しいメッセージはありません」「ピピ･･･」と聞こえる

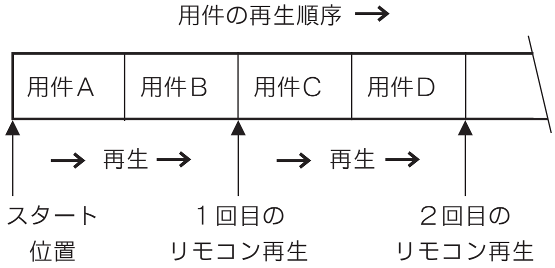
■用件録音が満杯で応答しなくなったとき

→ 「外出先から留守セットする **(→ P.30)**」の方法で用件を再生し、用件を消去する

ワンポイント

● リモコン操作は、プッシュ信号の出る電話機から行ってください。
● 暗証番号は、ゆっくり確実に押してください。暗証番号を誤って合計 16 桁押すと、電話が切れます。
● 自動車電話、携帯電話のときは、リモコン信号が受け付けされない場合があります。
● 再生終了音「ピピ･･･」を聞いてから、電話を切ってください。
● トールセーバー機能がご利用になれます。**(→ P.33 ❷)**
● ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、相手の電話番号が通知されたとき、および、公衆電話からかけてきたときのみリモコン開始ができるように変更ができます。**(→ P.34 ⓮)**
● 用件再生とメモ録音の操作以外はリモコン操作ができないように変更できます。**(→ P.34 ⓭)**

２回目にリモコン再生したとき



● ２回目にリモコン再生したときは、新しい録音件数と用件Ｃ・Ｄが聞こえます。
毎回新しく録音された用件から聞こえます。
● ２回目のリモコン再生で前回分の用件Ａ・Ｂを聞きたいときは、ダイヤル **2** を押します。

次の操作はリモコンから再生中のみ有効です。

■リピート再生をする

⓪

ダイヤル [0] を押す

その用件の頭へ戻って再生します。

■バック再生をする

①

ダイヤル [1] を押す

一つ前の用件の頭へ戻って再生します。
再生終了音のあとに押しても、バック再生をします。

■頭出し再生をする

②

ダイヤル [2] を押す

最初の用件の頭へ戻って再生します。
再生終了音のあとに押しても、頭出し再生をします。

■スキップ再生をする

③

ダイヤル [3] を押す

次の用件の頭へスキップして再生します。

■ 2 秒間巻き戻しをする

⊛

ダイヤル [＊] を押す

1 回押すごとに、約 2 秒間だけ、用件を巻き戻して、再生します。
再生終了時は、約 4 秒間戻ります。

■相手番号をアナウンスする

#

ダイヤル [#] を押す

ナンバー・ディスプレイがついているメッセージを再生しているときは、再生を中断し、「相手先の電話番号は、××・・・×です」とその相手の電話番号をアナウンスします。相手の電話番号がないときは、「相手先の電話番号はありません」とアナウンスします。

その他のリモコン操作をする

その他のリモコン操作時には、ガイダンス・メッセージ（**P.32** ガイダンス・メッセージ一覧参照）が聞こえます。

■応答メッセージを録音する

1 ④→#

《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、[4] [#] の順に押す

現在流している応答メッセージを上書き録音します。

2

現在流している応答メッセージが「1」であれば「応答メッセージ（1）を録音します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
その後「ピー」という音がしたら、録音を始める

3 ④

《録音が終わったら》
ダイヤル [4] を押す

「ピー」と鳴ってから、録音した応答メッセージが聞こえます。
録音した応答メッセージを再生後「ピーピーピー」と鳴り、リモコン操作状態に戻ります。

■現在流していない応答メッセージを録音し直す

→手順1のときダイヤルを
- [4] [1] の順に押すとメッセージ1
- [4] [2] の順に押すとメッセージ2
- [4] [3] の順に押すとメッセージ3

に対応して「応答メッセージ（1，2，3）を録音します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
録音後、現在流しているメッセージが、録音した新しいメッセージに切り替わる

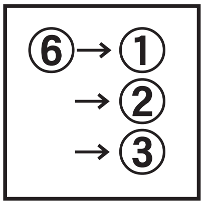
ワンポイント

- 応答録音用を応答専用メッセージとして録音することはできません。その逆も同様です。
- 未録音の応答メッセージ番号に録音すると、自動的に応答録音用になります。
- メモリーカードが満杯時は、「応答メッセージ（1，2，3）の録音ができません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。

その他のリモコン操作をする

■応答メッセージの番号を変える

1



《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、
[6] [応答番号] の順に押す

応答1のときは、[6] [1]
応答2のときは、[6] [2]
応答3のときは、[6] [3]

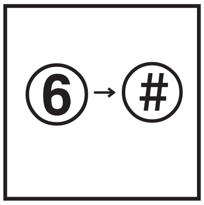
2

選択した応答メッセージが聞こえるので、内容を確認する

タイマーで本機を運用しているときは、このリモコンで応答メッセージの番号を変える機能は使えません。

■応答メッセージを再生する

1



《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、[6] [#] の順に押す

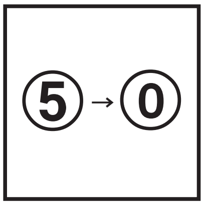
現在流している応答メッセージが再生されます。

ワンポイント

- 応答メッセージがないときは、「応答メッセージ（1，2，3）の録音がありません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。

■用件を消去して再セットする

1

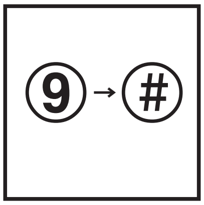


《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、[5] [0] の順に押す

「用件メッセージをすべて消去して留守セットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
「ピー」という音が聞こえ、電話が切れます。
保存分も、すべて消去されます。

■タイマーをセットする

1

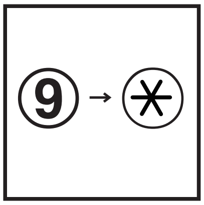


《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、[9] [#] の順に押す

「タイマーをセットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
「ピーピーピー」という音が聞こえ、タイマーがセットされます。

■タイマーを解除する

1



《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、[9] [*] の順に押す

「タイマーを解除します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
「ピーピーピー」という音が聞こえ、タイマーが解除されます。

その他のリモコン操作をする

■外出先から留守セットする

留守セットを忘れて外出したときは、外出先からリモコン操作で留守セットができます。

1

本機へ電話をかけ、呼び続ける（呼出音が45秒または90秒鳴ると、応答する）

2

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⓪

応答メッセージが聞こえたら、暗証番号を押す

未再生用件がある場合は再生します。

3

⑤→#

《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、5 # の順に押す

「再生済みメッセージを消去して留守セットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
「ピー」という音が聞こえ、電話が切れます。
再生済みの用件は消去されます。（保存の用件は消去されません。）

ワンポイント

- お買い上げ時は、外出先から留守セットはできない設定になっています。
  機能設定の「リモコンで留守セット (→ P.33 ⑩)」を「する」に設定を変更してください。
- 応答メッセージは、「ただいまは、電話に出ることができません。恐れ入りますが、あらためてお電話をいただけます様、お願いいたします。」の固定メッセージになります。
- 消去するメッセージがないときは、「留守セットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。（留守セットのみ）

■留守セットを解除する

1

⑤→＊

《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、5 ＊ の順に押す

「留守を解除します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
「ピー」という音が聞こえ、電話が切れます。

■メモ録音する

リモコン再生したあと、他の人への伝言や自分の覚えを残すのに便利です。

1

⑦

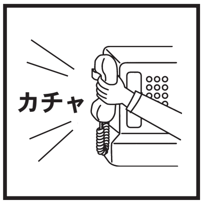
《再生終了音のあとに》
ダイヤル 7 を押す

「メモを録音します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。

2

「ピー」という音がしたら、録音を始める

3



《録音が終わったら》
電話を切る

ワンポイント

- 録音の途中で約８秒間何も話さないと、電話が切れます。
- メモ録音の件数は、録音件数および再生のときの件数アナウンスに加算されます。
- メモ録音中に暗証番号を入力すると、再びリモコン操作が可能となります。
- メモリーカードが満杯時は、「メモの録音ができません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。（メモ録音はできません）

その他のリモコン操作をする

■自動呼出機能をセットする

1

⑧ → ①
→ ②
→ ③

《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、
8 呼出番号 の順に押す

呼出１は、8 1
呼出２は、8 2
呼出３は、8 3

2

「呼出（１，２，３）をセットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。「ピーピーピー」という音がして、呼出がセットされます。

ワンポイント

- 呼出番号が登録されていないときは、「呼出（１，２，３）をセットできません」のガイダンス・メッセージが聞こえ「ピーピーピー」という音がして、セットできません。
- 番号を間違えたときは、ダイヤルを、8 ＊ の順に押して、入力をやり直します。
- 自動呼出機能が稼働中に呼び出し先を変更するときは、①まず 8 ＊ で自動呼出機能を解除し、②上記のセット機能で新しい番号を指定してください。

■自動呼出機能を解除する

1

⑧→⊛

《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、8 ＊ の順に押す

2

「呼出設定を解除します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。「ピーピーピー」という音がして、呼出が全て解除されます。

■自動呼出番号を確認する

1

⑧→#

《再生終了音のあとに》
ダイヤルを、8 # の順に押す

2

「呼出番号設定は（１，２，３）です」とセットされている呼出ボタン番号のガイダンス・メッセージが聞こえます。

ワンポイント

- 呼出番号がセットされていないときは、「呼出番号設定はありません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。

リモコンをする

■ガイダンス・メッセージ一覧

項番	コマンド	ガイダンスメッセージ	備　　考
1	[4][1]	応答メッセージ１を録音します	
	[4][2]	応答メッセージ２を録音します	
	[4][3]	応答メッセージ３を録音します	
2	[4][#]	応答メッセージ（1，2，3）の録音ができません	録音する空きエリアがないとき
3	[5][*]	留守を解除します	
4	[5][0]	留守にセットできません	応答メッセージが未録音などのとき
		留守セットします	
		用件メッセージをすべて消去して留守セットします	
5	[5][#]	留守にセットできません	応答メッセージが未録音などのとき
		留守セットします	
		再生済みメッセージを消去して留守セットします	
6	[6][#]	応答メッセージの再生	
		応答メッセージ（1，2，3）の録音がありません	
7	[7]	メモを録音します	
		メモの録音ができません	録音する空きエリアがないとき
8	[8][1]	呼出１をセットします	
	[8][2]	呼出２をセットします	
	[8][3]	呼出３をセットします	
		呼出（1，2，3）をセットできません	未登録のとき
		呼出設定をセットできません	非留守、応答専用メッセージのとき
9	[8][#]	呼出番号設定は（1，2，3）です	
		呼出番号設定はありません	
10	[8][*]	呼出設定を解除します	
11	[9][#]	タイマーをセットします	
		タイマーにセットできません	タイマー未登録、時刻未登録のとき
12	[9][*]	タイマーを解除します	

機能の設定を変える

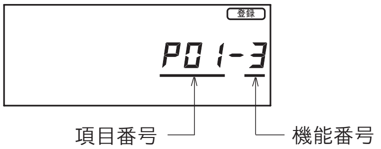
◎ 留守応答するまでの呼出音の回数やトールセーバー機能などの設定を用途に応じて変更 (登録) することができます。

■機能の設定変更のしかた

(例：留守応答までの呼出音の回数を１→３に変える)

1 (解除) を押す
2 スイッチカバーを開け (登録) を押す
3 (応答再生／機能登録) を押す
4 (前スキップ) または (後スキップ) で、項目番号を選ぶ
例では、「P01」を選ぶ
5 (戻り) または (送り) で、機能番号を選ぶ
例では、「３」を選ぶ
6 (登録) を押す
7 (解除) を押す

【機能登録表示】



■機能の設定内容を確認する

→ 上記手順１・２・３のあと (前スキップ) または (後スキップ) を押すとディスプレイで内容確認できます。
確認後は (解除) を押す

トールセーバー機能について

外出先からリモコン操作するときに、呼出音の回数で新しい用件録音の「有無」が確認できる機能です。

● お買い上げ時は、この機能がご利用になれない設定になっています。ご利用の場合は、機能の設定変更が必要です。(→ P.33 ❷)

● トールセーバー機能をご利用の場合通常、用件が録音されていると呼出音１回で電話がつながります。
録音されていないときは３回でつながります。
留守応答までの呼出音回数を設定変更した場合は
　用件録音「有」：設定回数で応答
　用件録音「無」：設定回数＋２回で応答
となります。

● キャッチホンサービスをご利用のときや、代表番号に接続のときは、トールセーバー機能をご利用になれないことがあります。

機能登録対応表

項　目	項目番号	機能内容・番号	
❶留守応答までの 呼出音回数 (ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、２回以上に設定してください)	P01	○１回	1
		２回	2
		３回	3
		４回	4
		５回	5
		６回	6
		７回	7
		８回	8
		９回	9
❷トールセーバー	P02	○しない	0
		する	1
❸用件録音の制限時間	P03	無制限	0
		１分	1
		２分	2
		○３分	3
		４分	4
		５分	5
		６分	6
		７分	7
		８分	8
		９分	9
❹用件保存して 留守セット	P04	○しない	0
		する	1
❺タイムスタンプ (※ 1)	P05	しない	0
		○する	1
❻タイマーの留守解除 (※ 2)	P06	○手動 (警告音)	0
		自動	1
❼自動呼出回数	P07	１回	1
		２回	2
		○３回	3
		４回	4
		５回	5
		６回	6
		７回	7
		８回	8
		９回	9
❽自動呼出間隔	P08	５分	1
		10 分	2
		○15 分	3
❾自動通話録音	P09	○しない	0
		回線電圧起動	1
		ｼﾘｰｽﾞ 電話機起動	2
❿リモコンで留守セット	P10	○しない	0
		する (45 秒)	1
		する (90 秒)	2
⓫用件満杯時応答 (※ 3)	P11	しない	0
		する (45 秒)	1
		○する (90 秒)	2

機能登録対応表

項　　目	項目番号	機能内容・番号	
⑫ナンバー・ディスプレイ　（※4）	P12	○しない	0
		対応電話機	1
⑬リモコンの機能制限（※5）	P13	○しない	0
		する	1
⑭リモコンの開始制限（※6）	P14	○しない	0
		非通知禁止	1
⑳ベルカウントタイミング	P20	0.1秒OFF	0
		○0.8秒OFF	1
㉑CPC検出	P21	OFF	0
		○ON	1
㉒並列電話機検出	P22	OFF	0
		○ON	1
㉓話中音判定回数	P23	○4回	0
		8回	1
㉔話中音判定周波数	P24	しない	0
		○300～600Hz	1
㉕話中音周期誤差	P25	○12.5%	0
		20.0%	1
㉖無効メッセージ消去	P26	しない	0
		○1.6秒以内のメッセージ	1

○印は、お買い上げ時の設定内容です。

■ ⑫は、ナンバー・ディスプレイサービスの加入が必要です。
■ ⑭は、ナンバー・ディスプレイサービスの加入と、⑫を「対応電話機」に設定することが必要です。

出荷時メモリーカードに録音されているメッセージ

● 応答メッセージ1
「ただいまの時間は留守番電話でご用件を承ります。ピーという信号のあとに、お名前とご用件をお話ください。」

● 応答メッセージ2
「ただいまは電話に出ることができません。恐れ入りますが改めてお電話をいただけますようお願いいたします。」

※1（❺タイムスタンプ）

● 「しない」に設定すると、アナウンスをしません。
● 「する」に設定すると、本体やリモコンの再生時にアナウンスします。

※2（❻タイマーの留守解除）

● 「手動」に設定すると、タイマーで解除時刻になったとき、警告音の後、「留守を解除する時刻になりました」とアナウンスするだけで、実際の留守解除はしません。
● 「自動」に設定すると、解除の時刻になると、留守を解除します。

※3（⓫用件満杯時応答）

● 応答専用の場合は、応答専用が優先します。

※4（⓬ナンバー・ディスプレイ）

● ナンバー・ディスプレイに加入していないときは、「しない」に設定します。
● 接続する電話機がナンバー・ディスプレイに対応しているときは「対応電話機」に設定します。
● 電源が入って3.5秒以上経過しないとナンバー・ディスプレイ表示ができません。
● 電源が入った状態で回線を切替えるとナンバー・ディスプレイ表示がされない場合があります。
この場合は、本機の電源を入れ直してください。
● キャッチホン割込みでのナンバー・ディスプレイ表示はされません。
● Lモード契約をされている場合は、「対応電話機」に設定してください。

※5（⓭リモコンの機能制限）

● 「する」に設定すると、リモコンでは用件再生とメモ録音の操作以外はできなくなります。

※6（⓮リモコンの開始制限）

● 使用するには、①ナンバー・ディスプレイ契約②ナンバー・ディスプレイ対応の端末の接続③ナンバー・ディスプレイ設定が必要です。
上記が満足していないと、リモコンがかかりません。（暗証番号のマークが点滅します。）
● 「非通知禁止」に設定すると、リモコン機能を使える電話機に制限ができます。一般の電話から番号通知で、または、公衆電話から本機に電話をかけリモコン操作を行います。

操作早見表

項目	操作	手順
時計合わせ	時計合わせ （→P.12）	解除［□］→ 登録 → 応答（時刻）→ 戻し［−］送り［＋］（「曜日」を選ぶ）→ 後スキップ［▷▷|］→ 戻し［−］送り［＋］（「時」を選ぶ）→ 後スキップ［▷▷|］→ 戻し［−］送り［＋］（「分」を選ぶ）→ 登録 → 解除［□］
応答メッセージ	応答録音メッセージの録音 （→P.13）	解除［□］→ 選択（応答１～３）→ 約２秒押す 応答（時刻）→「ピー」のあと録音開始 → 録音終了で押す 応答（時刻）→「ピー」のあと自動再生
	応答専用メッセージの録音 （→P.13）	解除［□］→ 選択（応答１～３）→ 約２秒押す 応答専用（暗証番号）→「ピー」のあと録音開始 → 録音終了で押す 応答専用（暗証番号）→「ピー」のあと自動再生
	応答メッセージの再生 （→P.13）	選択（応答１～３）→ 応答再生（機能登録）
留守セット	留守セット （→P.14）	解除［□］→ 選択（応答１～３）→ 留守 ※用件を残して、留守セットするときは、機能登録の「用件保存して留守セット」を「する」に設定する ※留守解除は、［解除］を押す
	タイマー登録 （→P.23）	解除［□］→ 登録 → □（タイマー）→ 戻し［−］送り［＋］（ステップ番号を選ぶ）→ 後スキップ［▷▷|］→ 戻し［−］送り［＋］（メッセージ番号を選ぶ）→ 後スキップ［▷▷|］→ 戻し［−］送り［＋］（「曜日」を選ぶ）→ 後スキップ［▷▷|］→ 戻し［−］送り［＋］（「時」を選ぶ）→ 後スキップ［▷▷|］→ 戻し［−］送り［＋］（「分」を選ぶ）→ 登録 → 解除［□］ ※ 続けて登録するときは、「分」を選択したあと、［後スキップ］を押し、次のステップを登録する。終わるときは、［登録］→［解除］の順に押す。
	タイマーセット （→P.24）	解除［□］→ □（タイマー）
用件の再生	用件の再生 （→P.16）	解除［□］→ 再生［▷|］
	再生中にできる操作 （→P.16）	リピート再生：前スキップ［|◁◁］１回押す バック再生：前スキップ［|◁◁］２回押す 巻き戻し：戻し［−］押している間 スキップ再生：後スキップ［▷▷|］１回押す 早送り：送り［＋］押している間 一時停止：再生［▷|］→ 再生スタート：再生［▷|］

リモコン

暗証番号の登録
（→ P. 26）

解除 [□] → 登録 → 応答専用（暗証番号） → 戻し [−] 送り [+]（「1桁目」を選ぶ） → 後スキップ [▷▷|] → ｛戻し [−] 送り [+] → 後スキップ [▷▷|]｝（「2～7桁目」を登録する） →

戻し [−] 送り [+]（「最終桁」を選ぶ） → 登録 → 解除 [□]

自動呼出

電話番号の登録
（→ P. 18）

解除 [□] → 登録 → 呼出1～3 [1]（呼出） → 戻し [−] 送り [+]（呼出先の種類） → 後スキップ [▷▷|] → ｛・DP は電話番号登録へ　・PB は、[戻し]/[送り] で【ロ】を選択｝（回線種別） → 後スキップ [▷▷|] →

｛戻し [−] 送り [+] → 後スキップ [▷▷|]｝（電話番号） → 登録 → 解除 [□]

ＤＰ：ダイヤル回線
ＰＢ：プッシュ回線

ディスプレイ・ポケットベルのメッセージ登録例
（→ P. 20）

ポケットベルの電話番号を登録 → 回線種別：｛・PB はポーズへ　・DP は、[戻し]/[送り] で【ロ】を選択｝ → 後スキップ [▷▷|] → ポーズ（10秒）：[戻し]/[送り] で、【L】を選択して、[後スキップ] を押す → ポーズ（9秒）：[戻し]/[送り] で、【P】を選択して、[後スキップ] を押す　3回繰り返す →

表示メッセージ：[戻し]/[送り] で、【表示ﾒｯｾｰｼﾞ】を選択して、[後スキップ] を押す　全桁繰り返す → ナンバー・ディスプレイ：[戻し]/[送り] で、【ㄇ】を選択して、[後スキップ] を押す → 終了信号（##）：[戻し]/[送り] で、【H】を選択して、[後スキップ] を押す　2回繰り返す → 登録 → 解除 [□]

自動呼出のセット
（→ P. 21）

留守セット状態にする → 呼出1～3 [1]（呼出）

通話録音

手動
（→ P. 22）

録音開始　通録 ○ → 録音終了　通録 ○

自動
（→ P. 22）

「自動通話録音」を「1. 回線電圧起動」「2. ｼﾘｰｽﾞ電話機起動」に設定変更する → 通録 ○ → 録音開始：受話器を上げる → 録音終了：受話器を下ろす

※自動通話録音を停止するには、再度、[通録] を押す

＜メモ＞

■リモコン操作メモカード

切り取ってご利用ください。

《外出先から留守セット》

1 本機に電話をかける
・呼出音約 45 秒又は 90 秒呼び続ける

2 応答メッセージが聞こえたら、
暗証番号を押す

3 「ピー」のあと、

再生済み用件消去で留守セット	→ 5 #
すべての用件を消去して留守セット	→ 5 0

《満杯に録音されているとき》

1 本機に電話をかける
・呼出音約 45 秒又は 90 秒呼び続ける

2 応答メッセージが聞こえたら、《リモコン操作方法》と同じ操作で、リモコン再生をする

《リモコン操作方法》

1 本機に電話をかける

2 応答メッセージが聞こえたら、
暗証番号を押す
・「ピー」のあと、件数に続いて、用件が聞こえます。

3 用件を再生中

リピート再生	→ 0
バック再生	→ 1
頭出し再生	→ 2
スキップ再生	→ 3
約２秒間巻き戻し	→ ＊
電話番号アナウンス	→ #

・すべての用件を聞き終えると、再生終了音「ピピ･･･」が聞こえる。

4 操作を終わるときは、電話を切る。続けて、操作をするときは、裏面の《その他のリモコン操作方法》を行ってください。

＜メモ＞

《以下は、再生終了音「ピピ･･･」のあと 10 秒以内に行ってください。》

用件再生へ戻す

最後の用件を再生		→ 1
頭だし再生		→ 2

応答メッセージ

現在応答の吹き替え／セット	開始	→ 4 #
	終了	→ 4
応答①の吹替え／セット	開始	→ 4 1
	終了	→ 4
応答②の吹替え／セット	開始	→ 4 2
	終了	→ 4
応答③の吹替え／セット	開始	→ 4 3
	終了	→ 4
応答①の再生／セット		→ 6 1
応答②の再生／セット		→ 6 2
応答③の再生／セット		→ 6 3
現在応答の再生／セット		→ 6 #

留守セット／解除

再生済み用件消去で留守セット	→ 5 #
すべての用件を消去して留守セット	→ 5 0
留守解除	→ 5 ＊

タイマーセット／解除

タイマーセット	→ 9 #
タイマー解除	→ 9 ＊

メモ録音

メモ録音	→ 7

自動呼出

呼出①をセット	→ 8 1
呼出②をセット	→ 8 2
呼出③をセット	→ 8 3
呼出を解除	→ 8 ＊
呼出番号の音声確認	→ 8 #

故障とお考えになる前に

動　作	こんなときは	お確かめください	参　照ページ
電源	ディスプレイの表示が消えている	電源アダプタが電源コンセントに差し込んでありますか	P.9 P.10
	時計が消去された	約1日以上停電がありませんでしたか？ 再登録をしてください。	P.12
応答メッセージ	応答メッセージランプが全部点滅している	メモリーカードが正常にセットされていますか？	P.11
	選択した応答メッセージランプが、点滅している	選択した応答メッセージには、応答メッセージが録音されていません。 応答メッセージを録音してください。	P.13
留守セット	留守セットができない	選択した応答メッセージのランプが早い点滅または、【FULL】表示していませんか？ 応答メッセージが録音されていません。 応答メッセージを録音してください。	P.13
		録音量の表示が点滅していませんか？ ディスプレイが【FULL】表示になっていませんか？ 用件を再生後、消去してください。	P.14
用件	用件録音中に、電話が切れる	相手の声が8秒以上途切れていませんか？	P.15
	再生音がでない	音量調節が最小になっていませんか？	P.6
リモコン操作	リモコン操作ができない	リモコン暗証番号は合っていますか？ プッシュ信号の出ない電話機からリモコン操作をしていませんか？	P.27
自動呼出	セットできない	留守セットしてから［呼出］ボタンを押しましたか？ 留守ランプが点灯しているときに、［呼出］ボタンを押してください。	P.21
ナンバー・ディスプレイ	相手先の電話番号が表示されない	ナンバー・ディスプレイに加入していますか？ ナンバー・ディスプレイに加入していないと、表示しません。 ナンバー・ディスプレイ対応の端末を接続していますか？ ナンバー・ディスプレイに対応した端末を接続していないと表示しません。	P.4 P.8

主な仕様

項　目	仕　様
回線種別	アナログ一般回線
回線直流抵抗値	約275Ω
応答メッセージ	最大（各）5分
用件メッセージ	最大 応答メッセージと合わせて約60分（H-FC「60M」使用時）／160件
時計精度	月差60秒以内（通電時、25℃）

項　目	仕　様
AC電源	AC100V ± 10V(50/60Hz)
DC電源	DC9V(専用電源アダプタ)
消費電力	最大5W
寸法	幅150㎜×奥行220㎜×高さ50㎜
重量	約600g

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（１年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して装置をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

●保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には、当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで装置をお持ちいただく場合は、お客様宅へお伺いするための費用は不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの１１３番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、７年間保有します。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供してます。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。
当社ホームページ： http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
お問合せ先：フリーアクセス ０１２０－９７０４１３
携帯電話・ＰＨＳ・０５０ＩＰ電話からのご利用は、０３－５６６７－７１００（通話料金がかかります）
受付時間　９：００～２１：００

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
お問合せ先：フリーアクセス ０１２０－２４８９９５
携帯電話・ＰＨＳからも利用可能です。
受付時間　９：００～１７：００

※年末年始：１２月２９日～１月３日は休業とさせていただきます。
電話番号はお間違えにならないように、ご注意願います。

NTT

©2005 NTTEAST・NTTWEST
本 2721-5 （2010.4）
AT-D770 トリセツ
P1E002551914R　Mar. 2010